

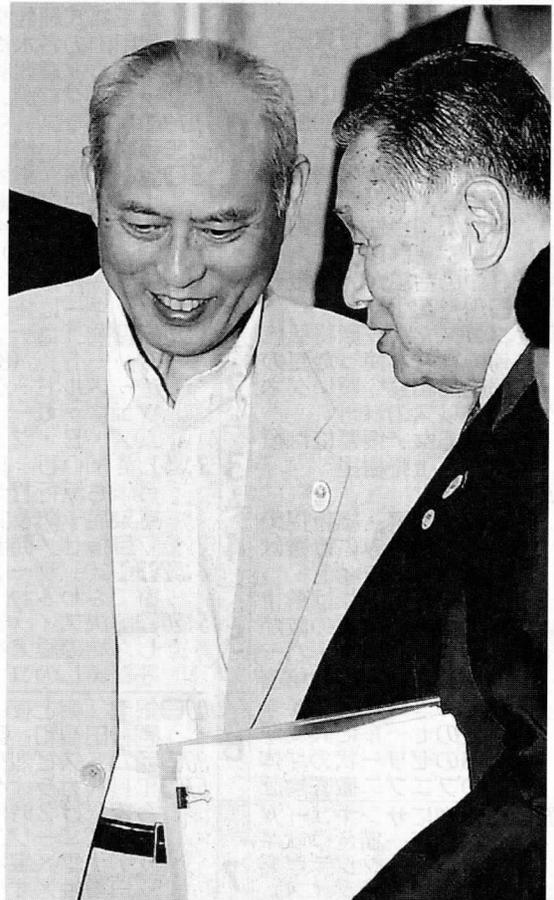
委員 縮小に反発

専門家「将来構想や経費の視点ない」

総工費2520億円に上る新国立競技場の計画が7日、事業主体の日本スポーツ振興センター(JSC)の将来構想有識者会議で了承された。昨春の計画を900億円近く上回る大幅なコスト増に世論の厳しい視線が注がれる中、会議では異論がほとんど出ず、むしろ新たな「財政出動」につながる意見が相次いだ。専門家からは有識者会議の在り方に批判の声が上がる。【武本光政、飯山太郎】

新国立計画了承

「価格についてはこれまで圧縮され、私は妥当だと思う」。会議で2020年東京五輪・パラリンピック大会組織委員会会長の森喜朗元首相は評価した。総工費は13年9月の五輪招致段階で1300億円と見込まれたが、建設資材高騰などを背景に同10月、3000億円との見通しが表面化した。見直しが進められ14年5月に1625億円まで下げられたものの、先月公表された計画で再び2520億円に膨らんだ。2520億円を導くためJSCと文部科学省は、開閉式屋根(遮音装置)設置を20大会後に先送りし、常設8万席のうち1万5000席を仮設に変更してコストダウンを図った。ところが7日の会



国立競技場将来構想有識者会議に臨む舛添要一東京都知事(左)と東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長一東京都内のホテルで7日午後1時25分、竹内幹撮影

議で委員は、この「計画縮小」に反発した。作曲家で日本音楽著作権協会の都倉俊一会長は「屋根がマスト(必須)。天候に左右される長期的な契約はできない」と述べた。五輪後にコンサート会場として活用する構想を踏まえ、遮音装置の先送りに不満をあらわにして早期設置を訴えた。日本サッカー協会の小倉純二名誉会長はサッカーワールドカップ(W杯)招致を見据え「(8万席の一部が)仮設では男子W杯の開催規定に反する。五輪が終わってからの結構なので常設とすることを確認いただきたい」と要望し、JSC側も「検討する」と応じた。過去の五輪主会場の

建築家・楨文彦氏が寄稿

JSCCの強行姿勢が問題



楨文彦氏

新国立競技場の実施設計が了承されたことを受け、建築家の楨文彦氏が寄稿した。新国立競技場の現行案の最大の問題は、この種の施設として世界最大に近い建設コストを必要としながら、開閉式屋根、芝生育成、キールアーチの構造など、多くの問題を未解決のまま、設計、施工を強行しようとするJSCの姿勢にある。しかも、現行案でうたった屋根のある構造物にすることによってイベント収入を得るという目的は、健全な芝生育成のために年間12日間しかイベントに使用することが許されない。しかし膨大な維持管理費を必要とすることが極めて明らかで

た。一方、文科省を批判していた東京都の舛添要一知事も委員として出席。「技術的な点を判断するのは私にとりて不可能に近い。文科省、JSCの責任で19年ラグビーW杯までに間に合うよう、しかるべきものを完成させていただくことをお願いする」と述べた。委員で、デザイン選定は8日、東京都庁で舛添の審査委員長を務めた建築家の安藤忠雄氏は会議を欠席した。きょう、都に要請する舛添知事は7日夜、記者団に「協力要請を受けて、どうするか考えたい」と語った。

いじめ苦に中2自殺か

父「学校対応に不満」

岩手

岩手県奥州市で5日、同町の中学2年の男子生徒(13)が電車でひかれ死亡する事故があり、生徒が担任に提出していたノートに「いじめや自殺をほめかす記述をしていたことが分かった。同町教育委員会などは、いじめによる自殺があったとみて調査を始めた。県警紫波署などによると、生徒は5日午後7時半ごろ、同町のJR東北線矢幅駅の線路上で、盛岡発一ノ関行き上り普通電車(4両編成)にひかれ、死亡した。生徒は線路に飛び込んだとみられる。町教委によると、生徒は中学1年からのいじめを受けていたとみられ、当時の担任が対応した。学校側は一度解決したと認識していたが、2年生になっていじめがあり担任に相談していた。同校には生徒と担任が交換する「生活記録ノート」があり、今年5月以降に「なぐられたり、けられたり、首しめられたり」との記載があった。最近の欄には「ボクがいつ消えるかはわかりません」「ただ市(死)ぬ場所ばかりきまってるんですけどね」などと、自殺をほめかす内容も書かれていた。生徒の父親によると、1年生の時にいじめを受けていることを新幹線放火直前都区役所へ電話容疑者「生活できぬ」走行中の東海道新幹線で林崎春生容疑者(71)東京都杉並区西荻北が焼身自殺し、巻き添えになった女性が死亡した事件で、林崎容疑者が放火直前、車両内から同区役所に「生活ができないから最後のお金を持って新幹線に乗っている」と電話をかけていたことが、神奈川県警の調べで分かった。県警は生活苦が自殺の動機との見方を強めている。県警によると、林崎容疑者の遺体のポケットにあった携帯電話を調べたところ、ガソリンに火を付ける9分前の6月30日午前11時21分、同区役所の代表電話への発信履歴が確認された。